別紙　業務詳細

業務範囲及び方法	現病院	新病院
（１）滅菌業務		
①返却された器材のカウント		
・返却された器材の数量確認を行う。	○	○
・午前中に１回各部門を廻り使用済み器材の回収を行う。※朝回収のみ(各部署と受取時の個数確認)	○	○
②使用済み器材の洗浄		
・器材の材質や構造に応じて、各現場で一次洗浄を行っていない一部の機械洗浄及び用手洗浄、浸漬洗浄を行う。（現病院では一部の器材を各現場で一次洗浄を実施している。）	○	
・器材の材質や構造に応じて、機械洗浄及び用手洗浄、浸漬洗浄を行う。（新病院では一次洗浄を中央材料室内に統一する。）		○
・鋼製小物の性能維持及び錆止め等の目的で、必要に応じて潤滑・防錆処理を行う。	○	○
③洗浄済み器材の乾燥		
・器材の材質や構造に応じて、乾燥機を用いて乾燥する。	○	○
④器材の点検		
・器材等の汚れを確認し、汚れがある場合は再度洗浄を行う。	○	○
・器材の作動点検（切れ味、噛み合わせ等）を行う。作動不良を発見した場合は、手術室に連絡し対応する。	○	○
⑤器材等の組立・包装		
・セットメニュー表をもとに器材を揃えて組立を行う。	○	○
・セット器材及び単品器材を指定した方法により適切に包装する。	○	○
⑥ 器材等の滅菌		
・器材の特性に応じた滅菌方法を選択し、適切な滅菌を行う。	○	○
・滅菌装置の日常点検及び定期メンテナンスを行う。(ウォッシャーのクエン酸洗浄など)	○	○
・化学的インジケータによるモニタリングを毎回行う。	○	○
・生物学的インジケータによるモニタリングを毎日行う。	○	○
・エチレンオキシドガス滅菌が必要な器材は院内施設で滅菌処理を行う。	○	
⑦滅菌装置の操作		
・各種滅菌装置を操作手順に沿って稼動させる。	○	○
・滅菌装置の運転回数等を記録し、業務日報を提出する。	○	○
・異常を発見した場合は、直ちに病院担当者へ報告する。	○	○
⑧滅菌物の点検		
・滅菌処理後の器材は、汚れや破損等の有無、インジケータの確認を行う。	○	○
⑨滅菌物の払出準備		
・滅菌済み器材は既滅菌室内及び所定の場所に収納する。	○	○
・手術器材は所定の場所に収納する。	○	○
⑩滅菌物の払出・供給		
・返却数量をもとに確認を行い、部署毎へ供給（払出室の収納棚に配置）を行う。（病棟外来）	○	○
⑪滅菌物の保管管理（中央材料室管理備品）		
・手術器材の有効期限管理（準備・保管室内、月１回）※必要時再滅菌	○	○
⑫手術終了後の使用済み器材の洗浄業務		
・使用済み器材の回収は、看護師による術後器材カウント終了後とする。(委託業者とWチェック)	○	○
・メス刃、注射針、縫合針、単回使用器材等、再生しない物品は看護師が廃棄する。	○	○
・器材の材質や構造に応じて、機械洗浄及び用手洗浄を行う。	○	○
・鋼製小物の性能維持及び錆止め等の目的で、必要に応じて潤滑・防錆処理を行う。	○	○
（２）付帯業務		
・滅菌物の払出数の入力（病棟・外来・手術室）、伝票の集計	○	○
・手術台用のシーツ準備（シーツロールからの切り出し）※朝の回収のみ	○	○
・業者貸し出し物品は洗浄(一部用手洗浄)、滅菌を行う。	○	○
・各手術室(手術終了後)のゴミの回収を行う。	○	○
・職員ユニフォームのクリーニング出しと納品後の収納を行う。(週2回)	○	○